

九州・沖縄ブロック 地方ステージ

- [主催] 国立青少年教育振興機構
- [後援] 熊本県教育委員会
- [期日] 令和3年1月9日(土) 11:00～16:00
- [活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家 中研修室
- [参加者] 本部より決定された出場者(本年度は阿蘇中央高等学校のグループ4組)
- [評価委員] 八幡 英幸 氏 (熊本大学教育学部 学部長)
 本郷 真紹 氏 (立命館大学文学部 教授)
 北見 靖直 氏 (国立阿蘇青少年交流の家 次長)
- [担当職員] 有木園 和志(企画指導専門職) 田中 英祐(事業推進室長)
 尾家 義隆(企画指導専門職) 甲斐 祐美(事務補佐員)

1 趣旨

新学習指導要領に定められた「総合的な探究の時間」の目標等に基づいた研修会を実施するとともに、生徒が地域で行う探究活動を顕彰することで、生徒一人一人が社会の担い手となって、社会の成長につながる新たな価値を創造する人材になることを支援する。

2 目標

- 出場者の発表を審査し、全国ステージに出場するブロック代表者を選出する。
- 出場者の取組を評価することで、社会の担い手となり新たな価値を創造する意欲を高める。
- 出場者同士の交流や学びを通して、自身の探究活動を見つめなおすことができる。

3 事業展開

研修プログラム

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
1月9日(土)			参加者 評価委員	受付 打合せ	開会式	プレゼン発表	昼食・休憩	グループワーク 審査	閉会式	解散						

活動の様子



4 成果と課題

- 「自分たちでは気づかなかった角度からのアドバイスやヒントをもらえてとてもためになった」「もっと自分たちの考えを深められると思った」「質問に答えることが難しく、これからまだまだ調べることが必要だと感じた」「これからも活動を続けたいと強く感じる」など、プレゼン発表を通して、評価委員からの質問に的確に答えるという課題が明らかになり、今後の探究活動への意欲も高まる素晴らしい機会となったことがうかがえた。
- プレゼン発表までの支援や、グループワークでのファシリテーションなどボランティアの働きで、本事業の目的を達成するとともに、より有意義な事業になった。
- ◆ 書面審査対象となる「実践活動報告書」の形式や、プレゼン発表の評価基準の在り方について、改善の必要があるため、来年度に向けて修正が必要である。
- ◆ 来年度も阿蘇が会場になる場合、阿蘇中央高等学校との連携が必要なOR合宿と本部との連携が必要な地方ステージは、担当を分けた方がよい。